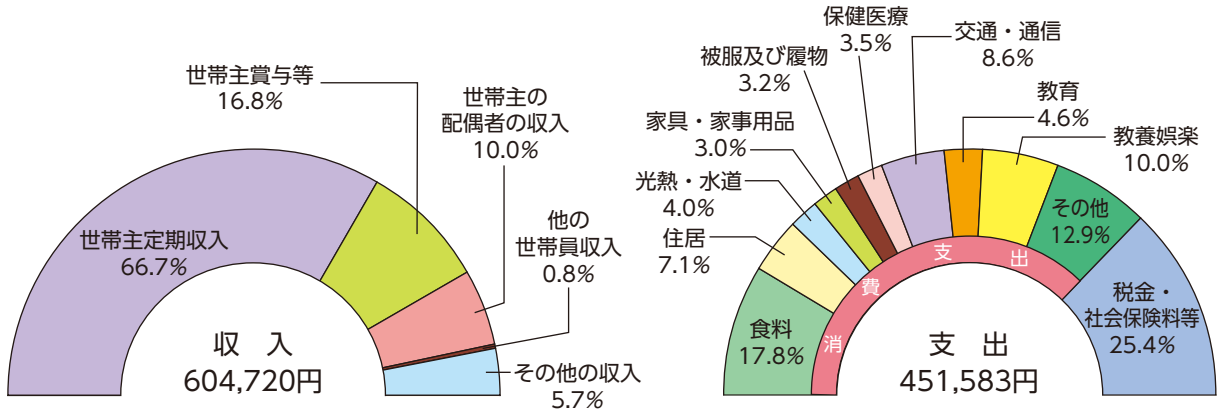


10 暮らし

① 1世帯当たり1か月間の収入と支出(さいたま市・勤労者世帯) (2024年平均)

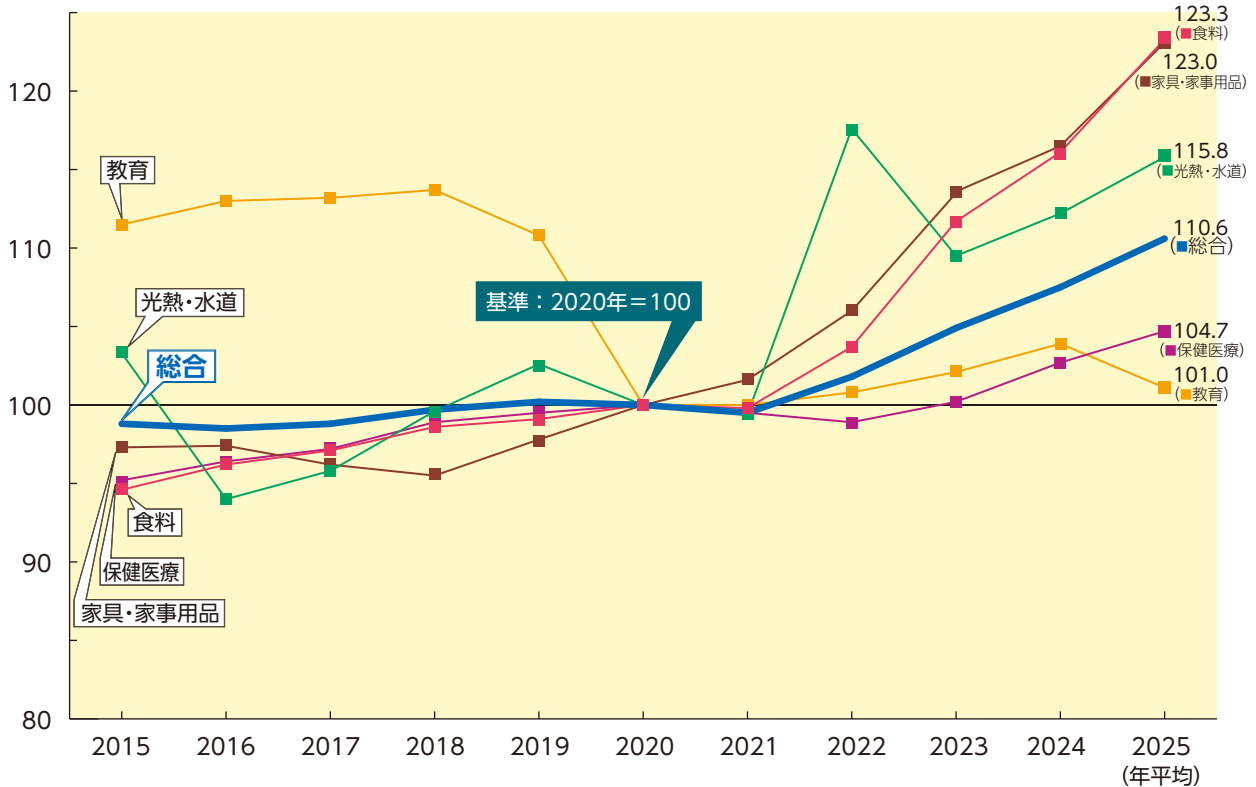


注) 収入とは、一般に言われる税込み収入のことで、世帯員全員の現金収入の合計である。支出とは、消費支出(生活費)と税金や社会保険料等の合計である。

資料：総務省統計局「家計調査」

① 1世帯当たりの1か月間の支出は451,583円、そのうち食料費は80,294円で、エンゲル係数(消費支出337,033円に占める食料費の割合)は23.8%でした。なお、全国の数値は、26.5%です。

② 消費者物価指数(さいたま市・2020年=100)



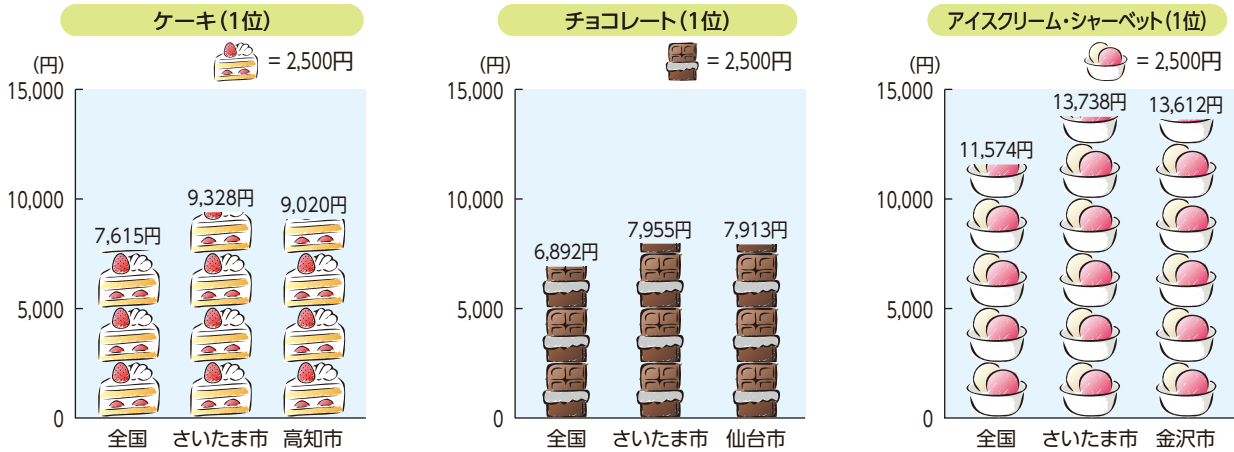
資料：総務省統計局「消費者物価指数」

「消費者物価指数」ってなあに？



消費者物価指数は、私たち消費者が購入するたくさんの商品の価格の変化を総合し、平均的な物価の動きをみるための指標です。基準となる時点の物価を100とし、そこから物価がどの程度上昇又は下落したかを表しています。

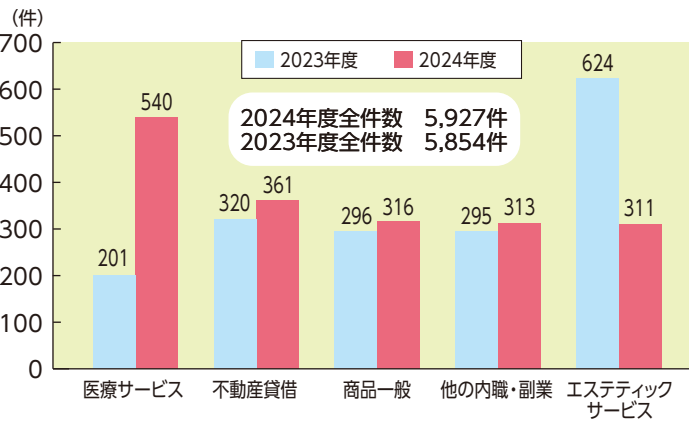
③ 購入金額が全国で上位の食料品(さいたま市)



↑ このほかにも生鮮野菜では「ブロッコリー」、調理食品では「おにぎり等」が1位となっています。

注) 1世帯当たりの年間購入金額(2022年~2024年平均)を都道府県庁所在地及び政令指定都市別に集計したものである。
資料: 総務省統計局「家計調査」

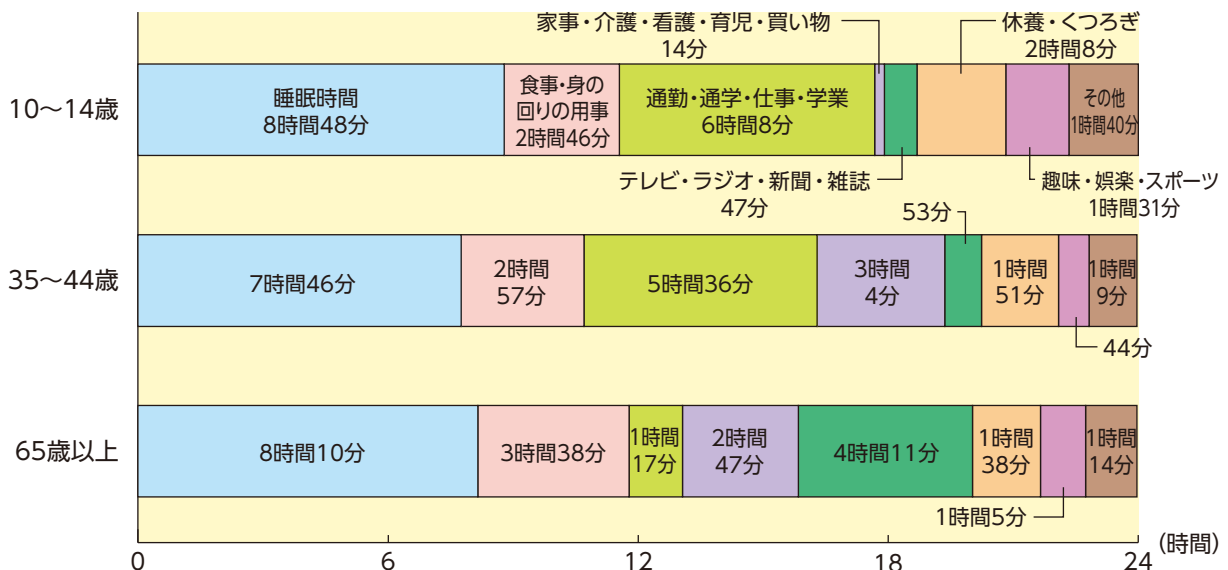
④ 若者の消費生活相談の相談件数(上位5項目)(2023年度・2024年度)



➡ 商品・サービス別にみると、「医療サービス」が339件増加しました。相談内容として大手事業者の倒産や休業に伴う解約や返金に関するものが多く寄せられています。前年度に相談の多かった「エステティックサービス」については前年度に比べ313件減少しました。

注) 契約当事者が29歳以下の集計。
資料: 県消費生活支援センター「埼玉県消費生活相談年報」

⑤ 1日の生活時間(2021年10月)



注) 10歳以上の人の1週間の平均値。
資料: 総務省統計局「社会生活基本調査」